



2025 年度
第 33 号

体育市民連帯 ニュースレター

大韓民国スポーツの

根本的变化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけますか？

1
ショートトラックの
金ソンテ総監督
退村措置
過去のずさんな懲戒監督



2
423 分の
録音ファイル
「虐待」の真実は
この中にある



3
スポーツ界の
信頼回復のための…
国民体育振興法
改正案発議



4
増えた
文化体育観光部の予算
体育は最低増加率…
K-カルチャーに重点

(단위: 억 원, 총지출 기준)

구 분	2025년 문화관광 예산액 (A)	비율 (%)	2025년 정부 예산액 (B)	비율 (%)	증감 (B-A)	증감 률
합 계	70,572	100	77,962	100	7,390	10.3
문화체육	21,824	31.1	26,388	33.8	4,564	20.8
관광	12,734	18.0	16,103	20.7	3,369	26.5
체육	13,477	19.1	14,740	18.9	1,263	9.4
문화체육관광	16,739	23.7	16,795	21.5	56	0.3
기 타	3,899	5.5	3,836	5.1	-63	-1.6

5
6000 万ウォンを
がぶがぶ…
スケート連盟まで
フィッシング詐欺に



01 中央日報 2025. 9. 5

ショートトラックの金ソンテ総監督、退村措置「過去のずさんな懲戒監督」



議論の中、韓国ショートトラックの臨時総監督に選任された金ソンテ（49）監督が結局、退村措置された。

中央日報の取材によると、大韓スケート競技連盟は5日、大韓体育会に「キム・ソンテ指導者の過去の懲戒に対してスケート連盟の追加調査が必要で退村措置する」という内容の公文書を送った。これに先立ち、スケート連盟は先月、ショートトラック代表チームの司令塔を交代し、臨時総監督に金ソンテ（49）連盟理事兼城南市庁監督を選任し、議論を呼んだ。

すると2日、国会文化体育観光委員会所属のチン・ジョンオ議員（国民の力）は「ショートトラック指導者選任方式と補職変更に様々な疑問点が存在する。」ずさんな管理監督”（ユン・ジェミョン）を追い出し、”過去にずさんな管理で重い懲戒を受けた監督”（キム・ソンテ）を選任するという荒唐無稽な決定だ」と指摘した。ようやく連盟が臨時後続措置を取ったのだ。

キム監督は2018平昌五輪で韓国チームを引き受け金メダル3個を収穫したが、チョ・ジェボムコーチ暴行事件と関連して偽り報告および事件隠蔽などで資格停止1年の重懲戒を受けた人物だ。先立ってチン議員の監督選任関連指摘にスケート連盟は「当時の事件で懲戒を受けたのはチョ・ジェボムコーチであり、キム監督は管理不十分の責任が主な懲戒要因」と釈明した。選任に問題はない」と主張した。

しかし2019年5月懲戒議決書によれば、当時スケート連盟は「選手団管理を疎かにし事件を虚偽報告し職務を怠り社会的物議を引き起こした」と指摘した。「社会的物議で資格停止懲戒」を受けた場合、「代表チーム指導者になれない」という国家代表選抜および運営規定(第10条11項)に該当する。

連盟は「連盟自費でキム監督を使うのは成果極大化と訓練空白解消のためのもの」と主張したが、スケート界内外ではキム・ソンテ監督選任のために無理な懲戒手続きを踏んでいるという指摘があふれた。

これまで代表チームを率いていたユン・ジェミョン監督とAコーチは5月、公金使用問題で各々資格停止1ヶ月と3ヶ月懲戒を受けた。スケート連盟は、ユン監督とAコーチが4回の外食に20万ウォン台の公金を使ったことを問題視した。ユン監督は大韓体育会の再審で嫌疑なしの処分を受けた。すると、連盟は今度は成績不振と選手団管理のずさんさを理由に、ユン監督の補職を変えた。

キム・ソンテ監督は2022年北京五輪当時、ロシアに帰化したビクトル・アン（韓国名アン・ヒョンス、40）コーチとともに中国チームを率いた。大会期間中、金監督は韓国に不利な偏った判定に沈黙し、中国が韓国を破って金メダルを取ったことに大きく歓呼し、国民の公憤を買った。

連盟はキム監督の正式任用可否を大韓体育会の有権解釈を受けて進行する計画だが、その前にひとまず退村措置を取った。

チン議員は5日、「金監督を退村措置したからといって、すべての疑惑が解消されるわけではない。このような議論の原因となった事件などを含め、様々な疑惑について国政監査期間中に綿密に調べる」と明らかにした。

出典：<https://www.joongang.co.kr/article/25364658>

02 シャーロック 2025.08.27

423 分の録音ファイル… 「虐待」の真実はこの中にある



ソン・ミヨン（仮名）氏が集めた録音ファイルの総再生時間。 いつか娘のヨンソ（仮名、24）氏が受けた児童虐待事件の真実を明らかにするために一つずつ集めてきたファイルが計 21 個だ。 録音ファイルの中には被害者に恐ろしい悪夢として残った事件の証拠が入っていた。

ヨンソさんは昨年 12 月、なんと 13 年ぶりに口を開いた。 小学生の時の 2011 年から 2016 年まで大邱スケート連盟所属のキム・アヨン（38）コーチから身体的・情緒的虐待を受けたと暴露した。

被害者はキムコーチを児童虐待などの疑いで告訴した。 児童虐待処罰法第 34 条によると、児童虐待犯罪の公訴時効は被害児童が成人になった日から始まる。 大邱スケート競技連盟に金コーチに対する懲戒要求書も提出した。

母親のソン・ミヨン氏が集めた録音ファイルには、キム・アヨンコーチが暴行の事実を認める言葉が含まれている。

母：「カナダに行く前もそうです。 お母さんたちみんな見ていました。（スケート靴）ブレードガードで叩くこと」

金コーチ：「そうすればもっとうまくできると思った……。」（2016. 2. 22.）

最悪の事件は 2013 年夏、カナダ転地訓練期間に発生した。 当時 12 歳だった被害者は、家族と遠く離れた他国で暴行と苛酷行為に苦しめられた。 拳と足が飛んでくるのは日常茶飯事だった。 理由は“ジャンプが成功できなくて”。

母：「そしたら殴ったんですか？」

キムコーチ：「殴ったのは確かです。」

お母さん：「足で蹴ったりしたのは合ってますか？」

キムコーチ：「はい」（2016. 2. 22.）

被害者は顔が「血餅」になったこともあると主張した。 カナダ転地訓練のある日、金コーチは被害者に縄跳び 2 段跳び 1000 本を指示した。 今回も理由は“ジャンプが成功できなくて”。 ロープに引っかかったり転んだりしたら、最初からまた。 訓練ではなく体罰に近いものだった。

被害者が「これ以上はできない」と言うと、キムコーチは被害者をそのまま車に乗せた。 そして、拳で顔を殴ったと被害者は証言した。 鼻血が出て、唇が裂けた。

唇の両側が裂けたこともあった。 被害者は、「金コーチが自分の口の中に両側に指 2 本を入れ、口が裂けるように引っ張った」と話した。 ジャンプを成功できると「嘘」をついたというのが理由だった。

母親：「私は先生（金コーチ）から直接聞きたいです。 私、うちの娘（この嘘をついているのではないかと）疑った」

キムコーチ：「口をつねったのもそうだし、お腹をつねったのもそうだし、足で蹴ったのもそうだし、そうです」

母：「それは全部見たじゃないですか。 他の子たちも」

キムコーチ：「そうだ」（2016. 2. 22.）

お腹の肉が引き裂かれるほど爪でつねったりもした。その後、キムコーチが「早く治って（韓国）行こう」と言って、傷口に「サメ油」を塗ったと被害者は主張した。そして、金コーチは一つ頼んだ。

「先生が愛しているからだと思うでしょう？ これは私たちだけの秘密だ。話したらどうなるか分かるでしょ？」

被害者は喘息を患っていた。しかし、彼女の主張によると、キムコーチが薬を制限したり、治療器（ネブライザー）の使用を防いだこともある。“精神力で勝ち抜かなければならない”という理由で。

カナダ転地訓練場「トイレ」は被害者に恐怖の空間として残った。被害者はトイレで金コーチに首を絞められながら聞いた言葉を覚えている。

「そのまま死ね。お前が死んだらお母さんに喘息で死んだと言えればいい」

トイレは誰も見る目のない場所。虐待の水位はさらに高まった。被害者の証言によると、キムコーチは被害者の口の中にはさみ一本の刃を入れて「口を切る」とも話した。被害者は、「あの時、初めて死の恐怖を感じた」と話した。

母：「カナダに行ってきた、この子がトイレを回って行ったんだ！」（記者主：トイレに行くのが怖くてトイレに行きたくても入口の前をぐるぐる回って迷って入ったという意味）

キムコーチ：「そこに連れて行って叱ったり殴ったりしたんです。外では叱れないし、外では殴れないから」（2016. 2. 29.）

キムコーチは被害者の母親と2016年2月にした対話で、具体的な虐待事実を各々認めはしなかった。しかし、対話の最後にこのように述べた。

母：「私は十分にたくさん聞いて、答えられる機会をあげたと思います。」

キムコーチ：「実は。ヨンソ（仮名）が言ったのは事実です」（2016. 2. 29.）

しかし、金コーチは、「被害者を自分のチームから放出する」と通報した。被害者は紆余曲折の末、新しいチームを訪れた。元々はその時、金コーチを告訴するつもりだった。しかし、「金コーチを告訴すれば、新しいチームにも受け入れられない」という条件の前で告訴を諦めるしかなかった。

被害者が金コーチを告訴したのは、それからさらに8年経った後だった。被害者は20歳になった年にフィギュアスケート選手生活を整理した。そしてその日の記憶について話せるようになった。

彼女は今もトラウマの中で日々耐えている。自分の意志とは関係なく、無意識の中で虐待当時に戻る「フラッシュバック」現象を一日に何度も体験する。被害者は自分を救うために今からでもキムコーチに「認定」と「謝罪」を受けたかった。（関連記事：「キム・ヨナの夢」は消えて…虐待の悪夢だけが残った）

昨年12月、金コーチを児童虐待で告訴した後、母親のソン・ミヨン氏は金コーチの電話を受けた。彼女は今回も具体的な事実を認めず「申し訳ない」という言葉だけを繰り返した。

金コーチ：「（すすり泣きながら）本当に申し訳ありません。こんな電話して本当に申し訳ありません。」

母：「いいえ、私に対して謝ることではなく…」

金コーチ：「あまりにも利己的だ。（自分が）電話したのがあまりにも利己的だ。すみません、お母さん。（…）…（警察）「よく調べてもらいます」（2025. 1. 27.）

2月には大邱スケート競技連盟のキム・サンユン会長の斡旋で被害者母娘とキムコーチが一堂に会した。

金コーチはその日も包括的な誤りを認めながらも、具体的な虐待事実については認めなかった。被害者がもどかしい気持ちで直接問い詰めた。

被害者：「何を間違えたのか、先生（金コーチ）は分かってないんじゃないですか？」

金コーチ：「(私が) 間違っただのは確かだろう。」

被害者：「覚えてないんですって！ 口の中にはさみを入れたのも、首を絞めながら言ったのも！ 先生、覚えていませんか？」

キムコーチ：「いいえ。」(2025. 2. 13.)

金コーチは、「何とか法的責任を避けようとした。被害者側に「裏面合意」を提案したのだ。具体的な虐待事実を認める趣旨の合意書を一枚、そして「民事・刑事上合意した」という「淡泊な」内容でもう一枚。そのように二枚を書くが、警察には後者だけを提出しようという話だった。

13 年間、被害者は「悪夢」の中に沈み、金コーチはさらに高いところに上がった。金コーチはジュニア世界選手権大会で入賞した国家代表選手を輩出し、指導力を認められた。2023 年には大邱市長賞を受賞した。

大邱スケート競技連盟は、金コーチに対する懲戒手続きを 8 ヶ月間保留している。18 日、連盟関係者は「(裁判所の)判決が下されれば懲戒手続きが進行される予定」と明らかにした。大邱スケート連盟のキム・サンユン会長も「法で自分たちだけで判断すれば良い」として「告訴結果が出てこそ懲戒するのではないか」と記者に反問した。

キム会長は今年 2 月、被害者とキムコーチの出会いを取り持った席で、被害者に「ひざまずいて『見逃してくれる？』と(お願い)する考えをしてきた」、「(私を)会長パパと呼べ」と話していた。記者が該当発言をした理由を尋ねると、「よくしてあげようとしたこと」と説明した。

キムコーチに 18 日から数回にわたり電話と携帯メールで反論インタビューを要請したが返事はなかった。今月 22 日に彼女を訪ねたが会えなかった。その日、キムコーチは携帯メールで、「出産後回復中で非常に敏感な時期にある」とし、インタビューに応じないという立場を明らかにした。

一方、現在児童虐待告訴事件は大邱寿城警察署で捜査中だ。追加被害者 2 人と目撃者が警察に事実確認書と嘆願書を提出した。

4 月、大邱家庭裁判所はキムコーチに臨時措置を決めた。2 ヶ月間、大邱児童保護専門機関に相談と教育を委託するという内容。臨時措置は、児童保護事件の円滑な環境調査・心理及び被害児童の保護が必要であると認めるときに下される措置である。

出典：<https://www.neosherlock.com/archives/35670>

03 ローイシュー 2025. 9. 8

チン・ジョンオ、スポーツ界の信頼回復のための… 国民体育振興法改正案発議



国会文体委所属の国民のカチン・ジョンオ国会議員は体育界団体役員らのセクハラ・パワハラ・暴行など重大な不正事件が公正に処理されるように(国民体育振興法)一部改正案を代表発議したと知られた。

現行法上、文体部長官は体育不正および人権侵害に対して体育団体に懲戒を要求することができ、該当団体は正当な理由がなければ従わなければならない。

だが、最近△太白市体育会役員パワハラ△龍仁市体育会暴言△済州市体育会会長セクハラ論難などで見られるように、体育団体が自主再審議を通じて事件を無嫌疑処理したり懲戒強度を低くする事例が続いてきた。

このように「身内庇護」は被害者に2次被害を与え、体育界全体の信頼を崩しているという批判が提起されてきた。 実際、スポーツ倫理センターに通報された事件でも、団体の軽い懲戒が繰り返されている。

具体的に A 市体育会会長が職員を相手に人権侵害を犯したが懲戒は「譴責」に終わった。 倫理センターが懲戒を要求したが、協会長の資格停止はなされなかった。 また、B 卓球協会会長当選者が役員に暴行したが、協会公正委員会は「品位維持義務違反」で「譴責」だけを議決した。

それだけではない。 C 市サッカー協会会長は権限を乱用し、セクハラまで犯したが、協会は無懲戒にしようとした。 以後、被害者再審と市体育会の追加議決で辛うじて「資格停止5ヶ月」処分が下された。 ところが協会は会長解任手続きを遅延し規定に違反したまま運営を持続してきた。

今回の改正案には△スポーツ倫理センターまたは捜査機関が調査・捜査を開始すれば該当体育団体が内部懲戒手続きを開始したり進行できないようにし△体育団体役員に対する懲戒権限を文体部長官(大韓体育会・大韓障害者体育会役員)または大韓体育会・大韓障害者体育会(その他の体育団体役員)に付与する内容が含まれている。

チン・ジョンオ議員は「体育会内部の軽い懲戒と身内庇護ではこれ以上体育界の不正を防ぐことはできない」とし、「これからは外部機関が直接懲戒権限を行使し公正性を保障し被害者保護と体育界の透明性を強化しなければならない」と明らかにした。

それと共にチン議員は「今回の法案が通過すれば体育界がこれ以上不正と人権侵害を覆うことができず国民の目線に合う懲戒と責任が伴うだろう」と話した。

一方、チン・ジョンオ国会議員は19日、記者会見を通じて体育界不正国民情報センター2期スタートと共に文化芸術界の不正・パワハラ根絶のための「文化芸術クリーンセンター」新設を明らかにした経緯がある。

出典：https://www.lawissue.co.kr/view.php?ud=2025090800054450892eef753eb_12

04 ノーカットニュース 2025. 9. 5

増えた文化体育観光部の予算、体育は最低増加率・・・「K-カルチャーに重点」

(단위: 억 원, 증감률 기준)						
구 분	2025년 본예산		2025년 정부안		전년 대비 증감	
	예산액 (A)	비율 (%)	정부안 (B)	비율 (%)	(B-A)	증
합 계	70,572	100	77,962	100	7,290	10.3
문화예술	23,824	33.7	26,398	33.8	2,564	10.8
관광체육	12,734	18.0	16,103	20.7	3,369	26.5
관광	13,477	19.1	14,740	18.9	1,263	9.4
체육	16,739	23.7	16,795	21.5	56	0.3
기 타	3,899	5.5	3,906	5.1	37	0.9

来年度の体育部門予算（案）の増加率が、文化体育観光部の他の部門の予算と比べると最も低いことが分かった。 また、全体予算で体育部門が占める割合も今年より減少した。 文体部は来年度予算案と関連して「K-カルチャー300兆ウォン時代にに向けた出発」とし、文化芸術・コンテンツに重点を置いた予算編成であることを強調している。

5日、文体部によると、2026年の予算案は7兆7962億ウォンで、今年比10.3%（7290億ウォン）増加した。 2020年以降最も大幅な増加に該当する。 このうち体育部門は1兆6795億ウォンを編成した。 今年の本予算が1兆6739億ウォンであることを考慮すると、56億ウォン（0.3%）増加した。

ただ、今年より体育部門が全体予算で占める割合は減った。今年の体育部門の本予算の比重は全体予算の23.7%だったが、来年は21.5%で2.2%ポイント減少した。また、今年対比体育部門の予算増加率（0.3%）もコンテンツ（26.5%）、文化芸術（10.8%）、観光（9.4%）、その他（0.9%）に次いで最も低い。

来年度体育部門予算比重が今年より減ったことに対するCBSノーカットニュースの取材に文体部企画調整室幹部は「体育部門予算が増えたにも関わらずコンテンツ部門など他の部門の比重が大きく増えた結果、相対的に体育部門比重が減った」と答えた。

今年対比予算増加率が5部門の中で最低である理由については「コンテンツ部門、文化芸術部門の予算が昨年より各々3369億ウォン、2564億ウォンで大幅に増え、やはり相対的に体育部門増加率は減った」と説明した。

出典：<https://www.nocutnews.co.kr/news/6395716>

05 ファイナンシャルニュース 2025. 09. 04

6000 万ウォンがぶがぶ…「スケート連盟」までフィッシング詐欺にあうなんて



大韓スケート競技連盟がショートトラック国際大会の代表チーム派遣過程で約6千万ウォンに達するフィッシング(Phishing)犯罪被害を受けた事実が後になって明らかになった。専門スポーツ団体でさえ、新種の

金融詐欺の手口にお手上げになったという点で、衝撃を与えている。スケート界によると、連盟は1月、国際大会組織委員会などを詐称した口座に2回にわたり計6000万ウォンを送金した後、7月になって被害事実を認知しソウル松坡警察署に申告した。

連盟は2024-2025国際スケート競技連盟(ISU)ショートトラックワールドツアー第6回大会を控え、大会組織委員会から現地滞在費の事前請求書と入金口座を電子メールで受け取った。担当者はショートトラック代表チームのイタリア・ミラノ現地ホテルの宿泊費、食費などを含めて約3千900万ウォンを送金した。これと同じ時期に連盟はカナダのケベックで開かれた2024-2025ISUショートトラックジュニアワールドカップ3次大会関係者からも似たようなEメールを受信し2千100万ウォンを送った。しかし、該当メールは実際の大会組織委員会や関係者が送ったものではなかった。

このように企業や団体の業務システムを狙う新種のフィッシングは最近頻繁に発生している。犯罪者たちはEメールアドレス、ロゴ、署名などを実際とそっくりにして受信者が疑わないように精巧に騙した。連盟関係者は「現在警察が調査中の内容」として言葉を慎んだ。今回の事件は政府機関や金融会社を詐称する伝統的なボイスフィッシングを越え、国際的な業務交流が多い団体と企業を狙う進化した詐欺手法という点で私たちの社会に大きな警戒心を与えている。

今回のことを契機に大韓スケート競技連盟だけでなく、すべての機関と個人がより一層徹底した保安意識を備え、発信者情報再確認、有線通話で事実関係確認、内部教育強化など予防努力を傾けなければならないという指摘が出ている。私たちは普通ボイスフィッシングと言えば個人にかかってくる電話や携帯メールを思い浮かべるが、今回の事例のように組織内部の行政システムを狙う詐欺手法はより一層緻密で被害規模が大きい可能性がある。

出典：<https://www.fnnews.com/news/202509041114583354>

体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。
私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と
福祉実現のために努力しています。
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための
体育市民連帯活動に強固な土台となります。
体育市民連帯会員として力になろうと
される方は下の口座に後援お願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com

週刊ニュースレターバックナンバー（資料室） <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>